富山県南砺市利賀村の山村留学事業実施までの経緯

戦後の 1947 年には 4,200 人を数えた利賀村（現南砺市利賀村）の人口も、高度経済成長期とともに若年人口の流出が激しくなり、50 年後の 1997 年には 1,000 人を下回るようになっていました。その後も過疎化は進み、2020 年には 500 人前後となっています。

そのため、かつては分校も含めて各地区に 7 校あった学校も、児童生徒数の減少とともに統合され、現在では小中各 1 校、全児童生徒数が 20 人前後と激減しています。

一方で、利賀村には豊かな自然と昔ながらの文化風土も残されています。

こうしたことから、南砺市では、都市部の児童生徒が親元を離れて山村に移り住み、地元の小中学校に通学しながら様々な自然・生活体験を行う山村留学制度に注目し、利賀の自然と文化風土を利用して山村留学を実施することは、山村留学生だけでなく、地元児童生徒や地域にとっても大変価値のあることと判断し、山村留学事業の実施を決定しました。

＜経緯＞

2014 年

南砺市総合戦略事業の一つとして山村留学を位置づけ、事前調査を開始

2015 年

公益財団法人育てる会との協議を開始し、山村留学の先進地視察や講演会、意見交換会等を実施して住民への啓発を推進

2016 年

山村留学事業についてのコンサルティング業務を育てる会に委託

南砺市利賀地域山村留学定住推進協議会を設置

2017 年～2018 年

夏休み期間を利用した体験キャンプを実施

2019 年

夏休みに加えて、冬休み期間にも体験キャンプを実施

2020 年

夏・冬休み期間の体験キャンプの実施に加えて、体験留学等を実施して留学生募集を開始

山村留学（長期みらい留学）の実施に向けた受け入れ体制づくり

2021 年以降

短期および長期みらい留学の本格実施

2020/8

南砺市利賀地域山村留学定住促進協議会